先史の世界
文明の誕生

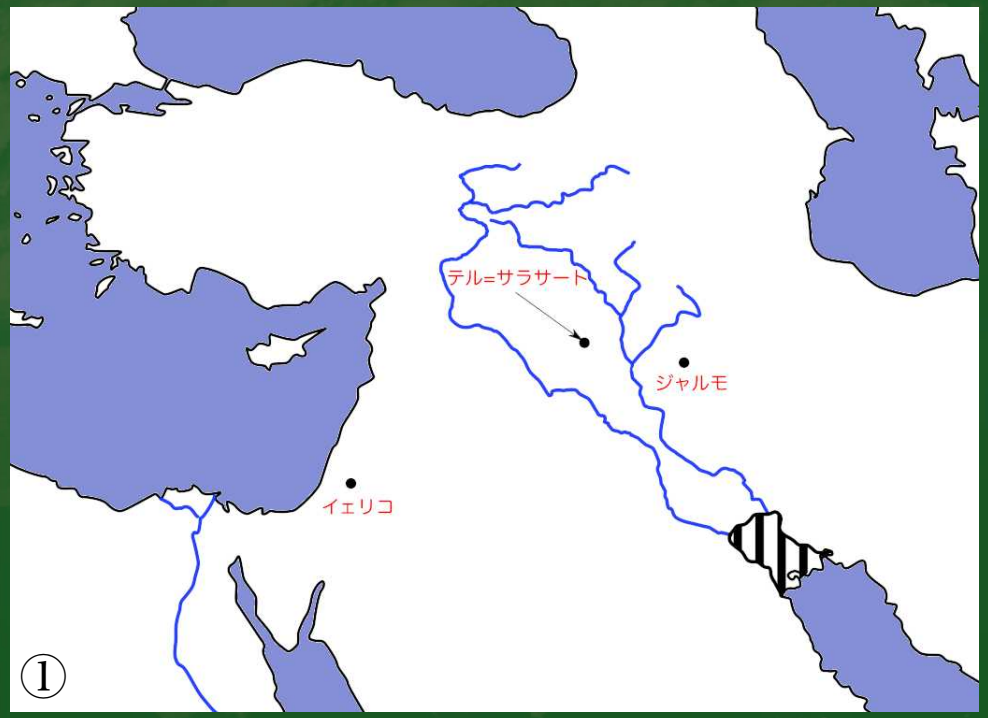
地質学的には
更新世から完新世へ

脱粒性

農耕・牧畜のはじまり

氷期が終わり温暖化〔約一万年前〕

西アジアで農耕牧畜が始まる〔約9000年前〕
→麦・マメ類など、豚・羊など



獲得経済から
生産経済へ

先史の世界
文明の誕生

新石器時代〔農耕の始まりと同時期から〕

磨製石器・土器の使用
織物生産の開始

③

④

原始宗教の登場

巨石記念物つくられる

アニミズム〔精霊崇拝〕
トーテミズム
シャーマニズム〔巫術〕

⑤
ギョベグリ=テペ

乾地・略奪農法

灌漑農業の開始

メソポタミアで始まる〔約8000年前頃〕

余剰生産物が増大する
→より多くの人口が養え、専門家も登場する

階級や貧富の差が発生する
→灌漑作業を指揮する人々が力をもつ
→穀物などは蓄えやすい

先史の世界
文明の誕生

国家〔都市国家〕の登場

支配体制の確立・専門家による技術進歩

城壁・金属器・文字〔記号〕が遺跡から現れる
→文明の誕生を確認

文明の誕生

ティグリス・ユーフラテス川
ナイル川
黄河・長江

南北アメリカ

写真・図

①白地図　作成者：白地図専門店　https://www.freemap.jp/
　改編：海・河川・遺跡位置書き入れ

②Wikimedia Commons file：Triticum monococcum0.jpg
　撮影者：Rasbak氏
　ライセンス：CC BY-SA 3.0

③Wikimedia Commons file：Haches pierre polie.jpg
　撮影者：Pline氏
　ライセンス：CC BY-SA 3.0

④ローマ国立博物館所蔵品　撮影者：Daisuke TACHIBANA

⑤Wikimedia Commons file：Tepe Pillar.JPG
　撮影者：Zhengan氏
　ライセンス：CC BY-SA 4.0

⑥Wikimedia Commons file：Pre-cuneiform tags, Sumer.jpg
　撮影者：पाटलिपुत्र氏
　ライセンス：CC BY 2.0